

商品名 ラベプラゾールNa錠10mg「YD」 医薬品基本情報

薬効	2329 その他の消化性潰瘍用剤	一般名	ラベプラゾールナトリウム10mg錠
英名	Rabeprazole Na	剤型	錠
薬価	19.00	規格	10mg 1錠
メーカー	陽進堂	毒劇区分	

ラベプラゾールNa錠10mg「YD」の効能・効果

Zollinger－Ellison症候群、胃潰瘍、逆流性食道炎、十二指腸潰瘍、吻合部潰瘍、非びらん性胃食道逆流症、(低用量アスピリン投与時における胃潰瘍、低用量アスピリン投与時における十二指腸潰瘍)の再発抑制、(胃潰瘍、十二指腸潰瘍、特発性血小板減少性紫斑病、胃MALTリンパ腫、ヘリコバクター・ピロリ感染胃炎、早期胃癌に対する内視鏡的治療後胃)のヘリコバクター・ピロリの除菌の補助

ラベプラゾールNa錠10mg「YD」の使用制限等

1. 本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴、リルピピリン塩酸塩投与中	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	禁止
2. 進行期胃MALTリンパ腫、早期胃癌に対する内視鏡的治療後胃以外	記載場所	効能・効果
	注意レベル	注意
3. 薬物過敏症の既往、肝硬変	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	注意

ラベプラゾールNa錠10mg「YD」の副作用等

1. 急性腎障害、間質性腎炎	記載場所	重大な副作用
	頻度	頻度不明
2. ショック、アナフィラキシー、汎血球減少、無顆粒球症、溶血性貧血、劇症肝炎、黄疸、皮膚障害、中毒性表皮壊死融解症、Toxic Epidermal Necrolysis、TEN、皮膚粘膜眼症候群、Stevens－Johnson症候群、多形紅斑、低ナトリウム血症、筋肉痛、脱力感、CK上昇、血中ミオグロビン上昇、尿中ミオグロビン上昇、横紋筋融解症、視力障害、錯乱状態、せん妄、異常行動、失見当識、幻覚、不安、焦燥、攻撃性	記載場所	重大な副作用
	頻度	頻度不明

3. 肝機能障害	記載場所	重大な副作用
	頻度	5%未満
4. 間質性肺炎、発熱、咳嗽、呼吸困難、肺音異常、捻髪音	記載場所	重大な副作用
	頻度	0.1%未満
5. 血小板減少	記載場所	重大な副作用
	頻度	0.1%未満
6. 舌炎、嘔吐、顕微鏡的大腸炎、collagenous colitis、lymphocytic colitis、せん妄、昏睡、目のちらつき、関節痛、筋肉痛、高アンモニア血症、低マグネシウム血症、女性化乳房	記載場所	その他の副作用
	頻度	頻度不明
7. 過敏症、発疹、そう痒感、白血球減少、白血球増加、好酸球増多、貧血、AST上昇、ALT上昇、Al-P上昇、γ-GTP上昇、LDH上昇、血圧上昇、便秘、下痢、腹部膨満感、嘔気、口内炎、頭痛、総コレステロール上昇、中性脂肪上昇、BUN上昇、蛋白尿、血中TSH増加、蕁麻疹、軟便、味覚異常、腹痛、舌炎、胃部不快感、鼓腸放屁	記載場所	その他の副作用
	頻度	5%未満
8. 蕁麻疹、赤血球減少、好中球増多、リンパ球減少、総ビリルビン上昇、動悸、腹痛、苦味、カンジダ症、胃もたれ、口渇、食欲不振、鼓腸、めまい、ふらつき、眠気、四肢脱力、知覚鈍麻、握力低下、口のもつれ、失見当識、かすみ目、浮腫、倦怠感、発熱、脱毛症、しびれ感、CK上昇、そう痒感、好酸球増多、好中球減少、リンパ球増多、血小板減少、白血球増加、Al-P上昇、LDH上昇、血圧上昇、口内炎、胸やけ、口唇炎、痔核、食道炎、腸炎、顔面浮腫、舌のしびれ感、熱感、蛋白尿、眼圧上昇、手足のしびれ感、尿酸上昇、尿糖異常、勃起増強	記載場所	その他の副作用
	頻度	0.1%未満
9. 甲状腺重量増加、血中サイロキシン増加	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
10. 肝性脳症、胎仔毒性、胎仔化骨遅延、胎仔体重低下、栄養状態悪化、消化器症状、良性胃ポリープ、骨粗鬆症、股関節骨折、手関節骨折、脊椎骨折、骨折、胃腸感染、胃にカルチノイド、母動物での毒性増強、胎仔発育抑制増強	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明

ラベプラゾールNa錠10mg「YD」の相互作用

1. 薬剤名等：リルピピリン塩酸塩	発現事象	作用を減弱	投与条件	-
	理由・原因	本剤の胃酸分泌抑制作用により、胃内pHが上昇し、リルピピリン塩酸塩の吸収が低下し、リルピピリンの血中濃度が低下	指示	禁止
2. 薬剤名等：ジゴキシン	発現事象	血中濃度が上昇	投与条件	-
	理由・原因	本剤の胃酸分泌抑制作用により、胃内pHが上昇し、相手薬剤の吸収を促進	指示	注意

3. 薬剤名等：メチルジゴキシン

発現事象	血中濃度が上昇	投与条件	-
理由・原因	本剤の胃酸分泌抑制作用により、胃内pHが上昇し、相手薬剤の吸収を促進	指示	注意

4. 薬剤名等：イトラコナゾール

発現事象	血中濃度が低下	投与条件	-
理由・原因	本剤の胃酸分泌抑制作用により、胃内pHが上昇し、相手薬剤の吸収を抑制	指示	注意

5. 薬剤名等：ゲフィチニブ

発現事象	血中濃度が低下	投与条件	-
理由・原因	本剤の胃酸分泌抑制作用により、胃内pHが上昇し、相手薬剤の吸収を抑制	指示	注意

6. 薬剤名等：水酸化アルミニウムゲル・水酸化マグネシウム含有の制酸剤

発現事象	本剤の平均血漿中濃度曲線下面積がそれぞれ8%・6%低下	投与条件	同時服用、制酸剤投与1時間後服用
理由・原因	-	指示	注意

7. 薬剤名等：メトトレキサート

発現事象	血中濃度が上昇	投与条件	-
理由・原因	-	指示	注意



薬学をはじめとする専門知識と情報処理技術が実現する高い信頼性と豊富な情報量

医薬品データベースの決定版 『DIR』